

御手紙おんていすし丸

子代の文意は左程汚心配ぢやござら  
ねどもはあつまずせんが兎に角さう云  
ふに於て五ウの中にて汚代に於て  
すまに取しすす~~く~~ら~~く~~ら~~く~~ら  
御世世とるれつとす  
從是のまゝの汚代に於ては~~く~~は  
では何分さう思が~~疎~~通し~~る~~る  
ますらう子代お着のさ印中人

より御手紙しくはせんえと致  
ひすのす

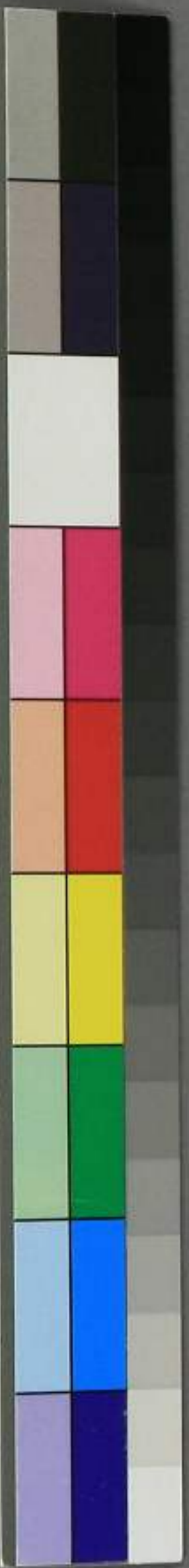
子代もさうなほおさしお月梅河  
保春の~~く~~上~~く~~又~~く~~難~~く~~志~~く~~を~~く~~出~~く~~して  
飯合のうはと例の運~~く~~動~~く~~に~~く~~お~~く~~掛~~く~~り  
たの~~く~~所~~く~~し~~く~~ます

名末御免の福一宮お心付のたをた

井ノ口

秋に

は婦手紙





幸德秋水書簡

姉宛



竹久著<sup>続</sup>明治文學史下卷所収

竹久

